

### 第3回市一括研修会レポート

9月17日（火）午後、取手福社会館講座室において、取手市コミュニティ・スクール第3回一括研修会が開かれました。本校からは学校運営協議会の委員、計7名が参加しました（他校の委員として参加された方も含む）。

今回の研修のテーマは、【学校評価を生かした「地域とともにある学校」づくり～自己評価と学校関係者評価の進め方～】でした。講師は1、2回目と同様、文部科学省にお勤めのCSマイスター安齋宏之先生です。

「学校評価」や「自己評価」、「学校関係者評価」等の意味や目的については、市コミュニティ・スクール通信「つ・な・ぐ」で説明されますのでそちらをご参照ください。

学校評価における「自己評価」の大切な評価材料として、7月にお願いした学校教育に関する保護者アンケート、同時期にとった生徒アンケート・教員アンケートがあります。第2回目のアンケートを12月に実施し、この二つのアンケートも参考にして学校は「自己評価」を行います。学校の教育目標の達成のために、様々な教育活動を実践し、その効果・成果や、反対に課題点などをまとめます。その「自己評価」が適切になされているか、以後の学校の教育活動をどう改善・発展させていくべきか、そういったことを話し合っていくのが「学校関係者評価」と呼ばれるものです。

この日の研修では、安齋先生が用意してくださったサンプルをもとに、この「学校関係者評価」の演習を行いました。

学校が「あいさつ」ができる子の育成のために実践してきたことを「自己評価」し、その実践内容や評価の結果について、委員の皆さんが話し合いました。本校の参加者6人がグループとなり、真剣に考え、意見を交わしました。難しい演習であったかと思いますが、今後の本校の「自己評価」の点検も、よろしくお願いいたします。



↑ グループ演習に取り組む  
← 委員の皆さん

本校の「コミスクだより」と、市が発行しているコミュニティ・スクール通信「つ・な・ぐ」のバックナンバーはこちらをクリック・タップするとご覧いただけます。

コミスク  
通信  
バック  
ナンバー